

デング熱の流行（参考情報）

コロンビアはデング熱の流行地であり、例年雨季に感染者が増加する傾向にあります。

1. コロンビア国立保健研究所発表の 2013 年第 44 週（10 月 27 日～11 月 2 日）感染症週報によれば、要旨は以下のとおりです。

（当館仮訳 [<http://www.ins.gov.co/boletin-epidemiologico/Paginas/default.aspx>]

（1）コロンビアでは年間を通してデング熱の流行が認められますが、今年は特に第 15 週～29 週に発生が増加し、それ以降は徐々に減少してきています。

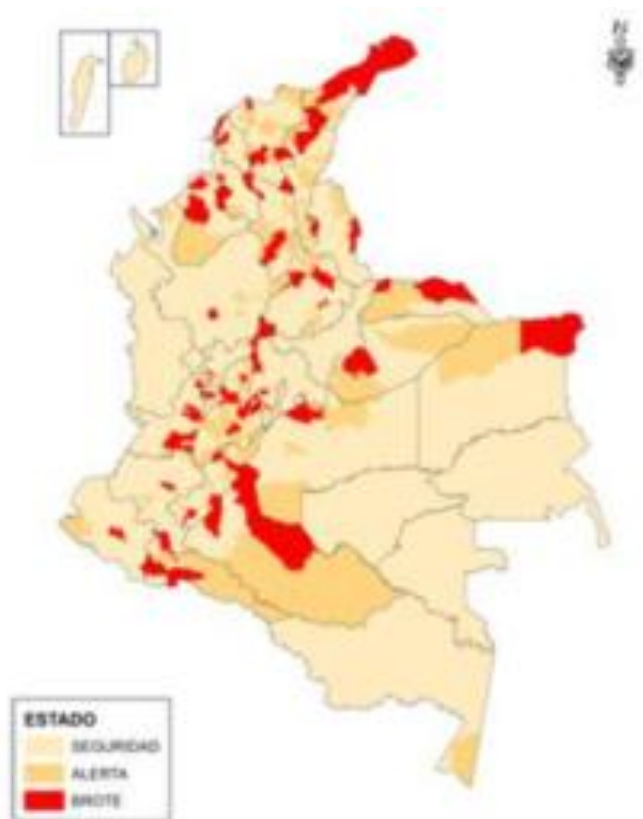
（2）第 44 週までに報告された総数は 110,036 件で、そのうち合併症のないものが 107,289 件（97.5%）、重症型が 2,747 件（2.5%）でした。

（3）2012 年第 44 週までの総計は 43,845 件で、今年は昨年の 151%の発生となっています。

（4）人口 10 万人当たりの発生率は 4,168.3 件で、地方都市の方が感染の危険が高くなっています。

（5）コロンビアにおける重症デング熱の死亡率は 4.7%です。

（6）コロンビアにおけるデング熱流行地域は下図のとおりです。



2. デング熱とは

(1) デングウイルスによる熱帯病の一つで、ヤブ蚊に属するネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されます。このウイルスには4つの型があり、1つの型には一度しか感染しませんが、短期間に異なる型に続けて感染すれば重症になると言われています。ウイルスを媒介する蚊は通常北緯 35 度～南緯 35 度の間で標高 1,000m 以下の地域に生息しています。蚊に刺される時間帯は主に日中です。

(2) 潜伏期間は3～14日で、ウイルスに感染しても多くのヒトの場合、発症しないと言われています。

(3) 主な症状は、発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などです。発熱期には5割～8割程度のヒトで発疹がみられます。

(4) デング熱に対する特効薬はありません。そのため治療は症状に応じて点滴や輸血などが行われます。

(5) 予防についても、ワクチンや予防薬が開発されていないため、蚊に刺されないように注意するしかありません。

3. デング熱に関する情報は、下記サイトでも紹介されていますので、ご覧下さい。

(1) 国立感染症研究所：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ta/dengue.html>

(2) 厚生労働省検疫所：<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name33.html>

(3) 外務省：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/kakuron03.html>